

# 令和3年度の進捗状況及び今後の取り組み【観光分野】

## ◆分野を代表する目標：観光総消費額

単位：億円

	H30 (出発点)	R元	R2	R3	R4	R5
目標	1,199	1,230	1,053	1,096	1,130	1,288
実績	1,104	1,096	648	699	-	-
達成度	B	B	D	D	-	-

## ◆分野を代表する目標：県外観光客入込数

単位：万人

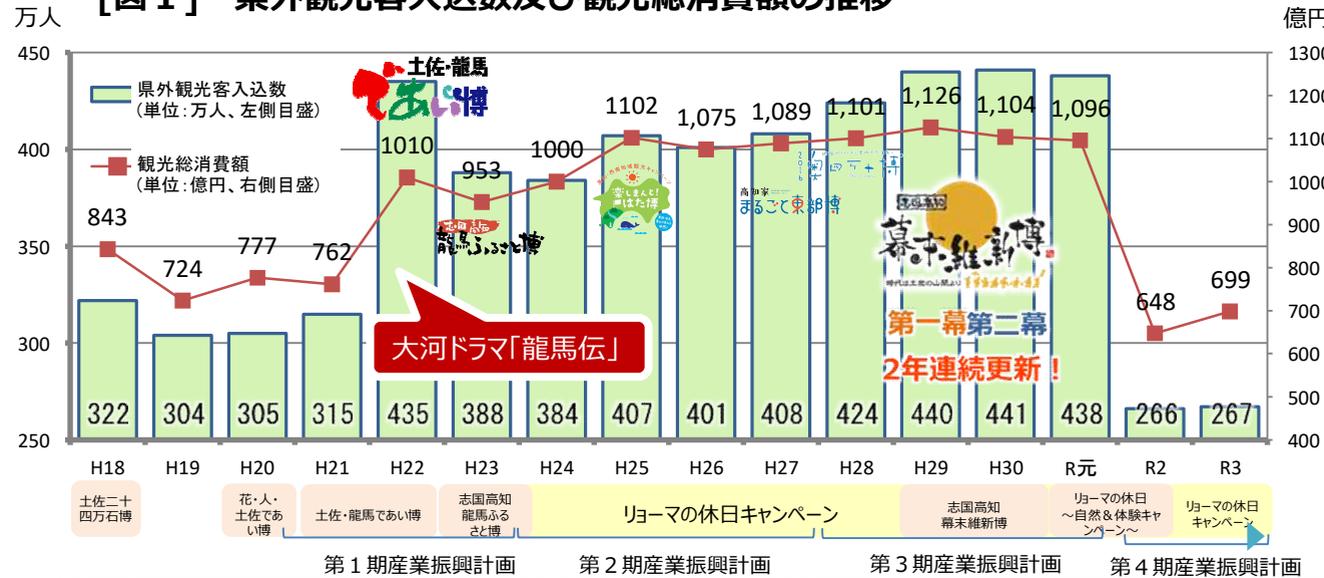
	H30 (出発点)	R元	R2	R3	R4	R5
目標	440	435	400	435	450	460
実績	441	438	266	267	-	-
達成度	A	A	D	D	-	-

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

## ◆分野を代表するR3年度到達目標の達成状況

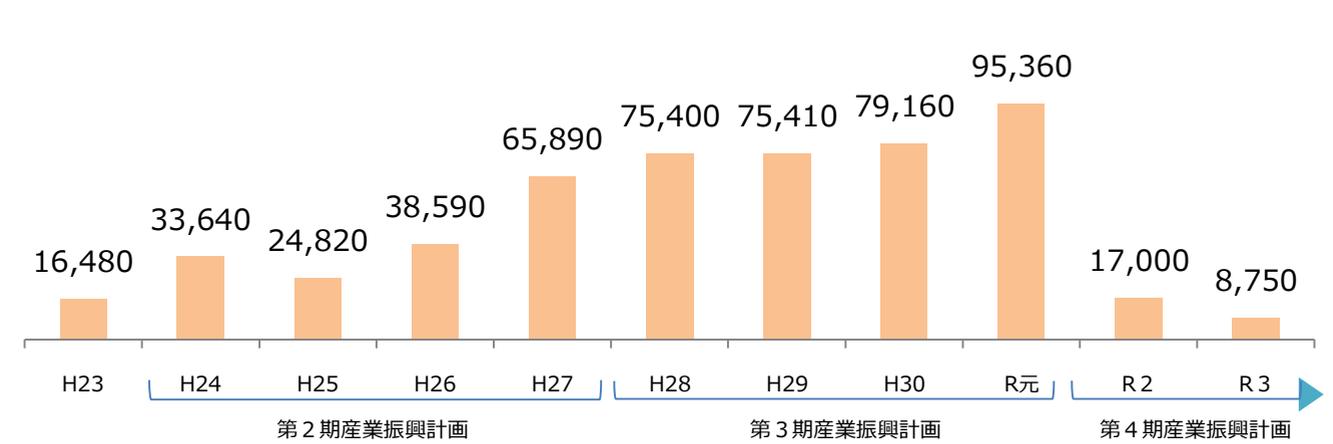
- 「観光総消費額（図1）」のR3年の実績は699億円と、新型コロナウイルスの全国的な第5波、第6波の影響で、コロナ前のR元年の1,096億円と比較すると大きく落ち込んでおり、目標は未達。
- 「県外観光客入込数（図1）」についても、観光総消費額と同じくコロナの影響によりR3年の実績は267万人と、コロナ前のR元年の438万人と比較すると落ち込み、目標は未達。
- R4年の3月頃からは、徐々にホテル・旅館の予約や利用者が増え始めている状況であり、回復の兆しが見られる。

【図1】 県外観光客入込数及び観光総消費額の推移



【図2】 本県の外国人延べ宿泊者数の推移（人泊）

(出典/観光庁宿泊旅行調査(従業員が10未満の宿泊施設を含む))



R3年は、新型コロナウイルス感染症による渡航制限の影響により、8,750人と目標である2.5万人は未達。

R3年は、一昨年から続くコロナ影響により、R2年の実績から、ほぼ横ばいの状況となっている。そのため、目標の観光総消費額(1,096億円)及び県外観光客入込数(435万人)は未達。

【表1】 その他主要な戦略目標達成状況

項目	出発点	到達目標(R3)	直近の実績(R3)	R4年度到達目標
全国から誘客できる観光拠点の整備	(H30) 8か所	16か所	16か所	18か所
広域観光組織の体制強化(観光庁登録DMO)	(H30) 1	4	4	4
スポーツツーリズムの強化(年間)	(H30) 9万人	13万人	1.1万人	14万人

項目	出発点	到達目標(R3)	直近の実績(R3)	R4年度到達目標
観光客満足度調査における「大変良い」「良い」の割合 観光施設(年間)	79% (H30)	84%	83.2%	84%
観光客満足度調査における「大変良い」「良い」の割合 宿泊施設(年間)	79% (H30)	84%	80.2%	84%

## ◆今後の取り組み

- 今後、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて、R5年の目標である「観光総消費額」1,288億円、「県外観光客入込数」460万人以上を目指すため、R4年度は特に以下の取り組みを重点的に進める。
  - ①「食」を前面に出した観光キャンペーン「リョーマの休日」の展開
  - ②デジタルデータを活用したマーケティング支援の実施
  - ③宿泊施設魅力向上のための支援
  - ④NHK連続テレビ小説「らんまん」を生かした観光振興の推進
  - ⑤サステナブルを切り口にした観光プロモーションの実施
  - ⑥インバウンドの再開及び大阪・関西万博を見据えた、本県ならではの強いコンテンツづくり